第 10 講 【経済編】財政と金融

PART1 国民所得と経済成長

Chapter1　フローとストック

目標
経済上のフローとストックという言葉の意味を知ろう。
GDPがどんなものか説明できるようにしよう。

1 国民経済におけるフローの指標

〔　　　　　　〕とは「**一定期間**における財・サービスの**流れ**」＝経済活動のこと。通常は４月１日～３月 31 日の１年間を基準とし，これを年度という。

①総生産額

１年間に生産された，財・サービスの市場における総額。

②国内の生産と国民の所得

A 〔　　　　　　　　　　〕〔GDP〕

国内の総生産額－中間生産物。１年間に一国内で新たに生産された付加価値の合計。

B 〔　　　　　　　　　　〕〔GNI〕→もとの国民総生産〔GNP〕

GDP＋海外からの純所得。

C **国民純生産〔NNP〕**

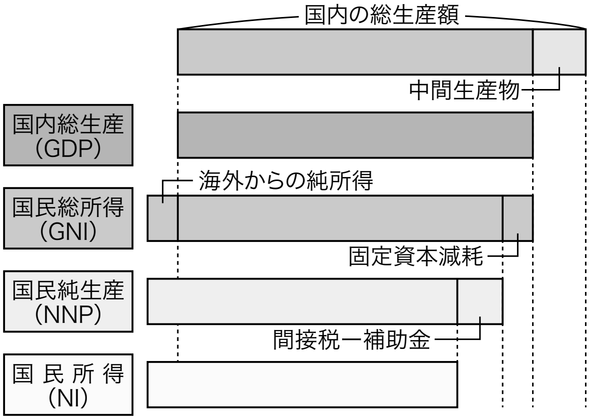
GNI－固定資本減耗〔減価償却費〕。固定資本減耗は価格に上乗せされるのでマイナスする。

D 〔　　　　　　　　〕〔NI〕

NNP－間接税＋補助金。補助金は価格の値下げにつながるためプラスする。

E **三面等価の原則**

生産・分配・支出の三側面から測定した国民所得〔NI〕は，理論上同額という原則。生産国民所得＝分配国民所得＝支出国民所得。



③新たな指標

A　既存の指標の限界

市場で取引される財・サービスしか計算していない。

B　**国民純福祉〔NNW〕**

国民総所得〔GNI〕に，余暇や家事労働・ボランティアによる経済的利益を加えたものから，環境破壊や都市化の弊害による経済的損失を差し引いた指標。

C　グリーンGDP

国内総生産〔GDP〕から固定資本減耗を差し引き，さらに環境破壊や都市化の弊害による経済的損失を差し引いた指標。

D　国民総幸福〔GNH〕

「豊かさ」を問い直す概念として主張されている。

2　国民経済におけるストックの指標

〔　　　　　　　　〕とは「**一定時点**における資産の**蓄積**」のこと。

①〔　　　　〕

国民資本ともいう。実物資産と対外純資産（対外資産－対外債務）の合計。

A　実物資産〔非金融資産〕

あ　生産資産

在庫・有形固定資産・無形固定資産

い　有形非生産資産

B　対外純資産

②家計・企業の金融資産

金融資産は銀行から他の誰かに貸し出され±ゼロと考えるので，国富には含まれない。しかし，国民が保有する外国債〔外債〕は含まれる。逆に外国人が保有する日本の国債はマイナスと考える。

まとめ　フローが１年間の「流れ」で，ストックがある時点での「蓄積」である。
GDPは，１年間に国内で新たに生産された付加価値の合計である。

Chapter2　経済成長と景気・物価

目標
景気循環の４つの波のうち「主循環」はどれか考えよう。
景気後退下に物価上昇が続く状態について理解しよう。

1　経済成長

①経済成長

経済活動の規模が拡大すること。高度成長・安定成長・マイナス成長などの用語がある。

②〔　　　　　　　　　　〕→名目成長率と実質成長率

一定期間における経済成長の度合い。通常は国内総生産〔GDP〕の対前年増加率で測定する。

※しかし物価が上昇すれば数値が伸びてしまうので，物価変動分を修正した**実質国内総生産〔実質GDP〕**が用いられており，**GDPデフレーター〔物価指数〕**を使い算出する。

2　景気

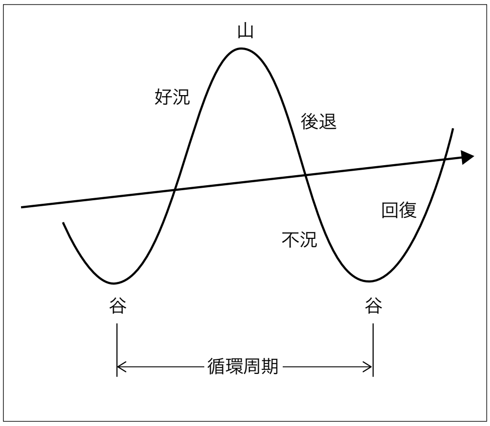
①景気循環〔景気変動〕

A　**好況〔好景気〕**

B　後退→急激な景気後退を〔　　　　〕という

C　**不況〔不景気〕**

D　回復



②景気循環の４つの波

A　〔　　　　　　〕**の波**→約 40 カ月周期の短期波動
在庫投資の変動による

B　〔　　　　　　　　　〕**の波**→約７～10年周期の中期波動
設備投資の変動による主循環

C　**クズネッツの波**→約 15～25年周期の中長期波動
建設投資の変動による

D　〔　　　　　　　　　　　　　〕**の波**→約 50～60年周期の長期波動
〔　　　　　　　　〕〔イノベーション〕によるが…

③景気政策

財政政策・金融政策や，場合によっては為替政策まで同時並行で組み合わせるポリシー＝ミックスも有効。

A　好況時→**デフレ政策〔景気抑制策〕**

B　不況時→**インフレ政策〔景気刺激策〕**

3　物価

①〔　　　　　〕

一定範囲での多数の商品の価格をある基準で総合的・平均的に表したもの。

A　**消費者物価**と**企業物価**

B　消費者物価指数と企業物価指数

②**インフレーション〔インフレ〕**→物価水準や賃金が持続的に〔　　　　　〕する現象

A　原因による分類

あ　ディマンド＝プル＝インフレ〔需要インフレ〕

い　コスト＝プッシュ＝インフレ〔費用インフレ〕

う　構造的インフレ

B　程度による分類

クリーピング＝インフレ→ギャロッピング＝インフレ→ハイパー＝インフレ

③**デフレーション〔デフレ〕**→物価水準や賃金が持続的に〔　　　　　〕する現象

物価の下落が継続して起こり，不景気を長引かせることを

〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕という。

④〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕**→景気後退下の物価上昇**

スタグネーション〔景気停滞〕とインフレーション〔物価上昇〕の合成語。

まとめ

景気循環の波のうち「主循環」とされるのは約7～10年周期のジュグラーの波である。

景気後退下に物価上昇が続く状態をスタグフレーションという。

第10講 PART1　確認問題

1 一定期間における財・サービスの流れを何というか。

① ストック　② フロー
③ デフレーター　④ 国富

2 国民総所得の略称はどれか。

① GNI　② GNP
③ GDP　④ NNP

3 「(国内の総生産額－中間生産物）＋海外からの純所得－固定資本減耗」で計算されるのはどれか。

① 国内総生産　② 国民総所得
③ 国民所得　④ 国民純生産

4 国民純福祉の略称はどれか。

① DAC　② NNW
③ GNP　④ GNH

5 景気循環の４つの波のうち，設備投資の変動による主循環はどれか。

① ジュグラーの波　② コンドラチェフの波
③ クズネッツの波　④ キチンの波

6 景気循環の４つの波のうち，約 50 ～ 60 年周期の長期波動はどれか。

① ジュグラーの波　② キチンの波
③ クズネッツの波　④ コンドラチェフの波

7 需要インフレと呼ばれるのはどれか。

① ギャロッピング＝インフレ　② コスト＝プッシュ＝インフレ
③ クリーピング＝インフレ　④ ディマンド＝プル＝インフレ

8 長期間にわたり徐々に進行するインフレで「しのびよるインフレ」と呼ばれるのはどれか。

① コスト＝プッシュ＝インフレ　② クリーピング＝インフレ
③ ディマンド＝プル＝インフレ　④ ギャロッピング＝インフレ

9 物価の下落が継続して起こり，不景気を長引かせることを何というか。

① スタグフレーション　② デフレーター
③ デフレスパイラル　④ デフレーション

10 景気後退下であるにもかかわらず，物価が持続的に上昇する現象を何というか。

① デフレスパイラル　② デフレーション
③ スタグフレーション　④ デフレーター

第10講　PART1　確認問題　解答

1 **解答：②**　フローは，ある一定期間内の財・サービスの流れを示すものである。

①：一定時点における資産の蓄積。
③：物価指数のこと。
④：ストックの代表例で，実物資産と対外純資産の合計。

2 **解答：①**　国民総所得〔ＧＮＩ〕は，国民が国内外で１年間に得た所得の合計。

②：国民総生産の略称。
③：国内総生産の略称。
④：国民純生産の略称。

3 **解答：④**　国民純生産〔ＮＮＰ〕は，「ＧＮＩ－固定資本減耗〔減価償却費〕」で計算される。

①：「国内の総生産額－中間生産物」で計算される。
②：「ＧＤＰ＋海外からの純所得」で計算される。
③：「ＮＮＰ－間接税＋補助金」で計算される。

4 **解答：②**　国民総所得〔ＧＮＩ〕に，余暇や家事労働・ボランティア活動による経済的利益を加えたものから，環境破壊や都市化の弊害による経済的損失を差し引いた指標。

①：開発援助委員会の略称。
③：国民総生産の略称。
④：国民総幸福の略称。

5 解答：①　ジュグラーの波は，約 7 ～10 年周期の中期波動である。

②：技術革新〔イノベーション〕による循環。
③：建設投資の変動による循環。
④：在庫投資の変動による循環。

6 解答：④　コンドラチェフの波は，技術革新〔イノベーション〕による循環である。

①：約 7 ～10 年周期の中期波動。
②：約 40 カ月周期の短期波動。
③：約 15～25 年周期の中長期波動。

7 解答：④　消費・投資・財政支出などを合わせた総需要が増加することにより発生するインフレ。

①：物価が急速に上昇するインフレのこと。
②：費用インフレのこと。
③：長期間にわたり徐々に進行するインフレのこと。

8 解答：②　クリーピング＝インフレは，先進国に見られるインフレとされる。

①：費用インフレのこと。
③：需要インフレのこと。
④：物価が急速に上昇するインフレのこと。

9 **解答：③**　デフレスパイラルとは，物価下落と景気後退の悪循環のことをいう。

①：景気後退下で物価が持続的に上昇する現象のこと。
②：物価指数のこと。
④：物価水準や賃金が持続的に下落する現象のこと。

10 **解答：③**　スタグネーション〔景気停滞〕とインフレーション〔物価上昇〕の合成語。

①：物価下落と景気後退の悪循環のこと。
②：物価水準や賃金が持続的に下落する現象のこと。
④：物価指数のこと。